

日光供奉天保録

卷

73
1441
3



門 793
號 1441
卷 5

九月廿六日



三卷目次

一 在勤同役
一 勤方何書

晦日

一 小供統各一系

十月三日

一 友人同念統上下小供心子与領進達一十事一者一

十二日

一 日先在勤方何領

十三日

一 秘多古姓名

明治廿七年二月十二日
山田知也氏寄贈



十二月九日

一 皇極經世

十二月四日

一 斥紀世 斥紀其不

一 右紀名代

八日

一 斥紀心紀

七日

一 見此下記及辰の行後

三才の四六

印日...
...

九月廿五日

一 飛脚の書便を松書及下書林の書

一 手紙の書便を松書及下書林の書

一 手紙の書便を松書及下書林の書

一 手紙の書便を松書及下書林の書

一 手紙の書便を松書及下書林の書

一 手紙の書便を松書及下書林の書

一 手紙の書便を松書及下書林の書

一 手紙の書便を松書及下書林の書

一 手紙の書便を松書及下書林の書

九月五日

石及松書便

志林又書

廿六日

一 師祭指牙預何在新者以收書而後合莊承順以年成合以通徭回
將以晨下為書是也供方之不拍仗以得大加心得記

甲光
師祭指牙在新者以收書而後合莊承順以年成合以通徭回
師祭指牙預何在新者以收書而後合莊承順以年成合以通徭回

本年四月日光

師祭指牙在新者以收書而後合莊承順以年成合以通徭回

看師

還師

師日久矣別派

師在山中諸口役人

師日久矣別派通在別派先例書亦係出於寺禮以上

去九月

子人

三月四日

甲光在新者以收書而後合莊承順以年成合以通徭回

文

例書

寬文三年四月日光

師社系

師殿市門系

是師

還師

師日見

師在山中別派

師日見

師殿法以役人一日古因役何拜寺主堂中村居在寺

師日見

一

皇原長承為大右先例之寺禮以兩為日光 師在山中諸向

別派

師日見

是師

還師

師日見

是師

還師

甲光 師旅舞於市門前

師日見

右先例中上

本和四月日見

本和四月日見

三月四日改行

少公

本和四月日見

本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

一 本和四月日見

子人思方人

日心

山法思方人

日長八中三

拾之可 子人歌

水遣奉切

久見方人

水長柄方人

山法思方人

古通事方人

一 古通事方人 燈月遣奉 水遣奉切

日光

市成、前於市道中、其意、又、其、事、仍、列、了、内、自、合、之、三、場、也、其、於、行、
而、行、之、在、其、概、亦、破、抄、傳、事、後、自、事、科、中、信、之、事、也、以上

九月十九日

休、之、事、也、
林、亦、之、事、也

十月朔日

水遣月番 三司主信友 水遣奉切 新屋方

一 今、月、供、月、番、但、以、坊、田、所、下、書、亦、以、將、區、及、其、事、者、服、事、交、中、是、用、之、事、也、
古、拒、事、及、治、療、事、如、有、其、事、日、其、以、書、亦、也

三日

一 三、司、及、月、方、或、田、南、之、而、能、其、預、決、下、其、事、死、及、進、進、自、限、及、小、合、
山、法、思、方、人、也、以上

一 子、人、思、方、人、下、并、の、事、也、夜、夜、者、九、月、高、水、也、其、事、也、
水、遣、奉、切、也、以上

一 坊、田、所、下、書、之、事、也、
山、法、思、方、人、也、以上

十一日

一 坊、田、所、下、書、文、通、之、事、也、
山、法、思、方、人、也、以上

志村又古史友

勝田將監

由備前守海軍令之要之達書或通字未達之由是定無執事古日限達
之後有之見之古日限有之候手候下候書也候之日限達之
事之由是古日限有之候手候下候書也候之日限達之由是
午之古日限有之候手候下候書也候之日限達之由是

十月十日

日光山

御書指之由是無執事古日限有之候手候下候書也候之日限達之由是
御書指之由是無執事古日限有之候手候下候書也候之日限達之由是

十月十日

勝田將監

十月十日

日光山

御書指之由是無執事古日限有之候手候下候書也候之日限達之由是
御書指之由是無執事古日限有之候手候下候書也候之日限達之由是

十月

勝田將監

十二日

- 一 三國書相目古日限有之候手候下候書也候之日限達之由是
- 一 御書指之由是無執事古日限有之候手候下候書也候之日限達之由是

他日光山中村又古史友在志村山中坊大和寺及、無書候之由是

足利氏家系

足利氏家系

足利氏家系

志村氏家系

足利氏家系

矢部正内

高城忠三郎

赤坂元九郎

前井勘吉郎

河野三郎

世役

大谷忠八

加藤清六郎

吉田信三郎

井上勘五郎

大谷信三郎

井上八五郎

福嶋令治郎

三浦通房九郎

半尾元次郎

石川元七郎

目

定田八五郎

原田孝三郎

三浦新三郎

平尾元九郎

大野元三郎

田中又次郎

丹次元三郎

中村甚三郎

谷口元三郎

及川元三郎

杉村元七

石川自良卿
 兼山方水部
 安田孫次郎
 羽中元左衛門
 志村信房
 三川忠直
 磯谷基輝
 後尾徳兵衛
 佐一木頼房

伏八拾人之内之拾五人

右通商月廿三日是通商古子孫也

三月十日

志村又右衛門

十日

一 此徳同心組以心向事而信賴及以心向事しと信後了後取書り取付
 了——是等事は海内々々取付了——云々也

總一色孫五郎様之事
 右通商月廿三日是通商古子孫也
 三月十日
 志村又右衛門
 山崎九郎
 堀田重六

一 京中及此方文通設案其了御供中法道必之病氣自到通也信以之
 了海内々々取付了

十六日

一 此供正等事は海内々々取付了是日之方は子孫也信以之了後取

令之也方之通書學也

十七日

一 本丸書房より後書をとり代指信を人投指守御忠化に指書目先之即書給ひ候へり川西の月書を指信七日及び指信七日を書有之候へり

六二日

一 只並取用より出府夕七の申付候へり右押指指所共々一と申付候へり
一 同所へ使より申付候へり右申付候へり右申付候へり
一 通徳通書一節也

志村又右忠成

三副士依書

後即令之也方之通書學也

十月廿二日

先達之及此掛合の通書有指書有後指信何由無以有尚御西の御其許之方并に御書有指書有上指書有申付候へり

十月廿二日

後即令之也

通書の書有之候へり

為賣下方 紙幣及上何書併以有正所之概 亦非日先事 仍中七也
以方以時 亦供之 併近才右場所 亦未 亦仍亦買 亦下亦也
右亦亦下 亦教之 亦亦馬中亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦
亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦

十月十日

林京之亦亦

一 夕刻 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦

廿四日

一 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦

一 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦

亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦

志村 亦亦亦亦

三洲 亦亦亦亦

亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦

亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦

十月十日

日光山

亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦

亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦
亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦
亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦
亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦 亦亦亦亦

十月廿四日

中川勘之布

一 古事書云此後

廿六日

一 三國志云此後

志村又古事書

三國志云

中城三石之遺書云通并依本三石之遺書云通并依本三
通字亦在古事書其字云

十月廿五日

是並統言古習日明廿七日右所用云板淺所令之巫代未也
作舟山竹致延川以信之

十月廿六日

依本云云

日光山

一 佛成之身諸向於佛之供標刻限分一時子有之事

一 小若駄之供標刻限分一時子有之事

一 水首布奉以分一之目有以使著也供標刻限分一時子建場
小若駄 佛祭智之不惜每朝夜有之也云云之事

一 佛白之事

佛是此遊以進水供同場存在 佛是之未待存在云云

一 佛光之事側所云此遊奉以進之水渡口明山之事

出市江取以辰真向分高書四目付の案内有るに
市光の市側元の中並出之に波流也之を折
市江日光羊 還市一節大市通有る事
市通個お供以辰一上事

十月廿六日

初産行行
休す之
拂取之

日光
市旅籠并三城
市江の内市端のついでに書通の帳古度並に供返迄未其市
江戸書通の出入結分を不禮論文に不及其通一夜入り下階

又七池文おる通仕也

市旅籠分は市光者市光おるに高書四目付の案内有るに
市江おるに書通

市旅籠不正為用事らる通に陰長并雜人主入論文意お通

一上

市通個お供以辰一上事

十月廿六日

初産行行
休す之
拂取之

廿八日

一 是並に其不沙出立物に及て其出立也

十一月六日

此世月書
藤田信忠

定月書

六窪田主水及

長子公房

一 三岡屋文通、此月有揚井屋多長達書、其書以是、有之中、使以、
計中、誠言、事、九日、翌日、十二日、是、並、種、古、長、文、字、所、及、言、

日光山

佛系、指、并、是、種、古、長、文、字、所、及、言、
事、九日、翌日、十二日、七、日、内、是、並、種、古、長、文、字、所、及、言、
以、事、何、了、と、存、否、所、不、了、也、

十月

揚井屋多長

右、身、宮、次、八、分、子、也、所、依、松、葉、及、在、府、也、月、定、順、次、節、及、也、
一 事、度、終、古、也、事、九日、翌日、十二日、是、並、種、古、長、文、字、所、及、言、

紀、中、事、以、百、日、之、文、字、所、依、松、葉、及、在、府、也、月、定、順、次、節、及、也、
右、之、身、宮、次、八、分、子、也、所、依、松、葉、及、在、府、也、月、定、順、次、節、及、也、
先、日、書、出、以、右、身、宮、次、八、分、子、也、所、依、松、葉、及、在、府、也、月、定、順、次、節、及、也、

一 是、並、種、古、長、文、字、所、及、言、
作、後、部、合、松、葉、及、在、府、也、月、定、順、次、節、及、也、

十月六日

藤田信忠

志村又古也

八日

一 三岡屋文通、此月有揚井屋多長達書、其書以是、有之中、使以、
姓、名、書、之、通、言、事、何、了、と、存、否、所、不、了、也、

本月九日足無統分有... 朝 申城拙七... 以上

十月七日

止... 以上

板井永集

一 且五之拾... 以上

... 以上

一 之剛... 以上

... 以上

但... 以上

足... 以上

子人... 志村...

世... 以上

行井...

右... 以上

子人...

志村...

十月八日

一 夜... 以上

及... 以上

... 以上

十月八日

板井...

九日曼

一 挑灯川に馬を

供号の侍或人陸人第号人等居居人
諸成人世界主人助也人

也組目人等

川後河谷の鞠所通半並のりて入竹橋に

大番所にて候は不足御案内の表上と一

相振の御中申下り相振の御武田南

不仕在候將監役の御申下り

連業内の一極類の將監役

是上御事申下候中申下内

大久保彦八郎土岐中郎左衛門

此先手朝比奈宗光等

是上御事申下候中申下内

是上御事申下候中申下内

侍等居居人
諸成人世界主人助也人

也組目人等

川後河谷の鞠所通半並のりて入竹橋に

大番所にて候は不足御案内の表上と一

相振の御中申下り相振の御武田南

不仕在候將監役の御申下り

連業内の一極類の將監役

是上御事申下候中申下内

大久保彦八郎土岐中郎左衛門

此先手朝比奈宗光等

是上御事申下候中申下内

是上御事申下候中申下内

佛乘法言子人改序礼并

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

十一月十二日

三同土依也
勝回皆望

在正月十日三同度

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

美

子人改序礼

冲多礼序是夜安永云甲年

冲多礼序是夜安永云甲年

大目月
四月廿日

日光以無之也

向上一言

大目

日无

一 仰成子之勤番之面、彼養子願書之、
尚且供之、而、彼養子願書之、
右、
右、

九月十六日將此度、願書打回通、
九月十六日將此度、願書打回通、

本年六月日无

仰成子之勤番之面、
仰成子之勤番之面、

本年四月日无

上列土作
瑞田信隆

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

仰成子之勤番之面、

者仰

還仰

所為錄亦門前

即日見信

右通千人以奉禮之手也

十月十三日

三國士依書
勝田將監

三人

別後

即日見七

是日 還即大出旅館門前

即日見後一君先拾通旨一了

本外年四月見光
即余活言在勤仕子公勤方後事相書

三國士依書
勝田將監

才亦年四月見光

即余活言日見在勤仕子人既勤方後事又申年四月見光

即余活言良馬所出清以得所 在勤仕子人既勤方後事又申年四月見光

同心百人右更三月日拾人見下連亦早換何所也

即余活言日見 即在山中 即山内少切内通与人合屋夜六

夜山下如佛之送命亦早 神不在勤 若神格外也 夜六夜五

神格外也 夜六夜五 神格外也 夜六夜五

神格外也 夜六夜五 神格外也 夜六夜五

送命佛亦早 神不在勤

享保亦承承亦承 常心得方大清亦後所 送命佛亦早

一 替り居りし連状を南月二日將監及下長官良平并年四月日迄

御東塔一良在御主人政勤向何事の附札之に所下下の列を也也也也

カキ

九月廿日御田友の長官の附状に下長

本年四月日迄

御東塔一良在御主人政勤向何事の附札之に所下下の列を也也也也

御東塔一良在御主人政勤向何事の附札之に所下下の列を也也也也

書簡一通了りおぼし

右京保書永元調云々

十八日

一 騎馬方出居りし一良官押書程所より列云

十九日

一 三國友上居りし出居りし御東塔

廿日

一 三國友東月武田南一良官中下りし出居りし御東塔
御東塔一良在御主人政勤向何事の附札之に所下下の列を也也也也

一 御東塔一良在御主人政勤向何事の附札之に所下下の列を也也也也

又

右領一良在御主人政勤向何事の附札之に所下下の列を也也也也

一 道中船多不人可... 此事波混新先年... 延出... 式并... 有... 地... 入用... 了... 手... 提... 一... 雨日... 一... 後... 子... 事... 右... 出... 所... 終... 以... 用... 掛... 心... 結... 之... 初... 上... 其... 未... 建... 日

十月

日无

即... 指... 自... 向... 往... 去... 物... 一... 後... 有... 事... 舟... 若... 知... 以... 尚... 月... 古... 自... 限... 并... 諸... 何... 原... 所... 物... 卯... 丁... 未... 卯... 年... 正... 月... 廿... 日... 限... 五... 刻... 左... 暫... 取... 丁... 亥... 也

三月

島村舟信

依... 本... 之... 系... 柳... 東... 五... 斗... 辰

中... 道... 申... 佛... 登... 休... 乃... 以... 佛... 申... 人... 食... 事... 大... 概... 亦... 佛... 以... 時... 乃... 以... 佛... 取... 物... 子... 矣... 折... 丁... 卯... 丁... 未... 卯... 年... 正... 月... 廿... 日... 限... 五... 刻... 左... 暫... 取... 丁... 亥... 也

三月六日

柳... 東... 主... 斗... 辰... 依... 一... 亦... 三... 辰

三... 同... 土... 依... 寺... 度... 勝... 田... 將... 此... 度

福... 傳... 寺... 九... 丁... 亥... 也

以... 目... 付... 下

日光 中山申小メリノ夜先主主人説文云々ノ事通事也
仰毎旦往々政方ニ候向申候中ニ述及ルル十七日夜ノ事
於宮 市光ノ事吾面ノ事申先主ノ事若ク人説文
ノ事通事ノ事彼是主ノ事混雜ノ事御事右ノ事十七日
若ク時々不及之人説文ニ姓名取紀申通事也且粟摺
申同所ノ事若夜ノ事御事殊悦夜戌刻ノ不改是又申通
事

右ノ通事申候事ノ事申通事上

三月

依ノ事ニ事
林原百斗以

日光心

市余語ニ事申列

上覽ニ事鞭為持申事官同申候事申通事上

三月十八日

櫻井疾之傳

日光心

市余語ニ事申列

上覽ニ事

- 一 晴天ニ事ハリ申事申用不申事
 - 一 暑事ハリノ事申腰分ニ仕ル申事申持申事
 - 一 雨降申事申事申雨ニ候掛申候事
- 上覽所前ノ事申事申候事申候事申候事申候事申候事
所ノ雨具ニ候事申天氣宜申候事申候事申候事申候事

右の如くおぼしめし申上

十二月十八日

櫻井元之丞

日光山

御奉行御列

上覧の御由御願ひ申上

上覧所へ出役し、一日役のり申上

十二月十九日

櫻井元之丞

日光山

御奉行御列

上覧の御由御願ひ申上

上覧の御由御願ひ申上

信之御奉行御列

十二月十九日

櫻井元之丞

日光山

御奉行御列

上覧の御由御願ひ申上

上覧の御由御願ひ申上

上覧の御由御願ひ申上

上覧の御由御願ひ申上

十二月

櫻井元之丞

御奉行御列

御奉行御列

右の如くおぼしめし申上

少礼
梅井久吉侍

三岡士郎
勝田好盛

日光山

御余詣り月以列

上院より下院へ御書人御斗召旅装束より以列未新
以加ふ所の及々木馬等御騎馬より供人分騎馬より以定し
人御不達し心得る人御書并御送具類大古徳等御根
以達し也列長し通

一 出陣奉り去人騎馬

侍三人

御持去人

草履取去人

口附去人

當分御持去人

一月組同心 八人

一 千人頭去人騎馬

侍去人

御持去人

草履取去人

口附去人

當分御持去人

一 千人同心 八拾人

一 外に通書初年

一 寺燈文馬八之

内之七人足六人引多中夜事

一 在人員多中夜事

右通書初年

宣三二月

山崎九師
御井師

右通書初年
 七之七人足六人引多中夜事
 宣三二月
 山崎九師
 御井師

